



AR stamp rully

What is AR stamp rully?

AR stamp rully とは、従来のスタンプラリーのスタンプを AR のマーカーとして利用して 3D 映像を見ることができるようになった、付加価値の加えられた新しいスタイルのスタンプラリーです。

今回はこの AR stamp rully を十和田市現代美術館周辺で、実際に行われていたスタンプラリーで実践すると仮定してデザインを行いました。

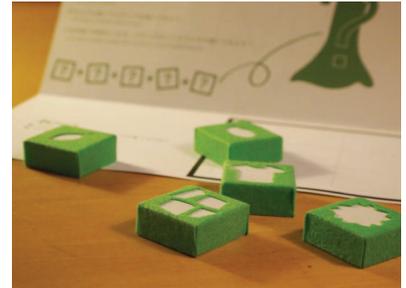
Towada Art Center

十和田市現代美術館は「新しい体験を提供する開かれた施設」として、ArtsTowada 計画の中核となる施設です。アート作品の展示のほか、文化芸術活動の支援や交流を促進する拠点となります。(十和田市現代美術館 HP より引用)
美術館付近の商店街と連携してスタンプラリーを行っていますが、立地場所が都心から離れているため、何度も来る人が多くはありません。そこで、このスタンプラリーに AR を活用することで、3D 表現の楽しみや、動作を用いた新しいスタンプラリーを実行できるのではと考えました。

Stamp Rully

スタンプラリーを利用することには、以下の 3 つの利点が考えられます。

- ・スタンプという慣れ親しんだ形で誰にでも AR を身近に感じることが出来ます。
- ・スタンプを好きな場所に押すことが出来ることにより、スタンプラリーを越えて遊ぶことができる。
- ・スタンプを探し、商店街を歩くことで、地域の人たちと交流することが出来ます。このことにより、人とのつながりのある地域活性化を行うことができます。



System

・携帯用アプリで AR を表示できるアプリをダウンロード後、スタンプラリー開始。

・美術館、商店街を周りながら、パンフレットに AR を表示させるスタンプをおす。

一スタンプひとつひとつ別なものを映し出し、美術館や商店街のお店それぞれを象徴するものが表示されます。今回は、「美術館」と、「お花屋さん」「お米屋さん」「服屋さん」「お茶屋さん」に設定しました。

・スタンプを押した後に、1つ1つ携帯電話のカメラを通して見ると、それぞれにARが表示されます。

Point!

このARは、スタンプを5つ全て押し終わるとそれ自体がマーカースとなり、美術館の展示物のARが表示されます。これは並べ方によって表示される美術作品が変わります。このことにより、リピーターの増加を狙えます。

